

GX（グリーン・トランスフォーメーション）と日本経済

学習院大学国際社会科学部教授 伊藤元重

- * IMFデータに見るポストコロナの世界経済
- * 各国が注力するポストコロナの経済政策
- * コロナ前の日本経済について
- * 突出して高い日本企業の貯蓄水準
- * 日本の潜在成長率低迷の原因
- * 不十分だった供給サイドへのテコ入れ
- * GXという供給サイドへの起爆剤
- * 需給両面からアプローチする日本
- * カーボンの使用抑制を巡る新しい動き
- * DXが起す革新にいかに対応するか



柴生田 それでは開会いたします。

9月、夏休み明けの最初の週でございます。7月にお休みに入るときは9月は対面で講演会ができると思っておりましたが、残念ながら、まだ9月12日まで緊急事態宣言下でございますので、本日もオンラインということになります。最初に連絡事項でございますが、一応今年は10月6日に青空会を開催したいと思っております。まだ参加者が少ないので、ぜひご参加をいただきたいと思えます。埼玉県東松山市の高坂カントリーで今年開催いたします。

さて、コロナの感染が依然として高水準であります。東京はここ12日間感染者が減り続けておりますので、あるいは12日でこの宣言も終わるかもしれませんが、まだ予断を許さないと

ころであります。コロナ後というのはなかなか見通しにくいかと思いますが、われわれの感覚としてはウイズコロナと言ったほうがいいのかもいけません。いずれにしても、社会状況が正常に戻っていく中で、あとはどういうことを考えていったらいいか、その辺がこれから重要になってまいります。

そういうことで、コロナ後の日本経済について、今日はおなじみの伊藤元重先生にお話をさせていただきますと思います。それでは伊藤先生、よろしくお願いいたします。

IMFデータに見るポストコロナの世界経済

伊藤 伊藤でございます。よろしくお願